

オープン・コム

Open Com

2017 No. 37

開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

院長ご挨拶	2	福島区自衛消防技術練成会で優勝しました	
「ハイブリッド手術室」について	2~3	サンタラン クリスマスプレゼント	
当院の実力	4~5	かかりつけ医さんこんにちは	12~13
プライマリケア診療部・救急診療部		さのこどもクリニック	
高精度放射線治療のご案内	6	てらい眼科	
健康管理センター通信 (骨ドック)	7	佐々医院	
院内施設のご案内	8	藤田外科胃腸科	
トピックス	9~11	みなさまの声 Open Win/d より	14
地域医療連絡会が開催されました		当病院の活動内容を掲載している記事	16~17
世界糖尿病デー in JCHO 大阪病院 2016 開催		禁煙外来のご案内	17
大阪病院賞 復活!		各種教室・公開講座・院内の公開講座	18~19

公設公営の独立行政法人 地域医療機能推進機構 (Japan Community Healthcare Organization: 略称 JCHO) 大阪病院は、平成26年4月から前身の旧大阪厚生年金病院を基盤により公的な性格を有する病院として新たな道程を歩み始め3年が経過しました。

また、厚労省認可から約5年間、患者さんには通院アクセスの不便さを、近隣住民の皆様には騒音・粉塵などで多大なご迷惑をおかけした免震構造の新病院建設工事も概ね順調に進捗し、一昨年5月3日に移転を終えた後、5月7日に開院しました。その後、旧病院解体跡地に200台以上収容可能な駐車場が昨年4月に完成しグランドオープンを迎えました。

この度、広報誌オープンコム平成29年度第37号を刊行するに際し、工事期間中に賜りました多くのご懇情に対する御礼を兼ねまして一言ご挨拶・ご報告申し上げます。

「民から官」への移行、即ち「みなし公務員」としての就業規則や倫理規定の一部改定に対する戸惑いに加え、移転及び新築建物と大型医療機器購入にかかる減価償却費返済で平成27年度は大幅な赤字決算に陥って賞与減額を強いられたことで、職員の中に鬱積した新秩序へのわだかまりは、未だに完全払拭出来ない状況です。しかし、新組織の名称及び理念の「我々全国ネットのJCHOは、地域の住民、行政、関係機関と連携し、地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」は、院内外を通じて漸次浸透してきており、新病院開院も相まって全職員が上下一丸となり、従前からの急性期医療(5疾病4事業)と地域連携推進を再加速させる心意気は十二分に感じていますので御期待下さい。

即ち、実質マイナス改定診療報酬や消費税 up に伴う課税仕入れ高騰に加えて、引き続き減価償却費返却などが重く押し掛かる中、職員の真の実力に加えて経営参画への意識向上から、平成28年度収支は何とか通年黒字決算に早期回復出来る見込みです。

従前から当院の目標であった①良質な医療技術の提供 ②次世代を担う医療人材の育成③チーム医療の拡充に加えて、④団塊世代すべてが後期高齢者の仲間入りをする2025年迄10年を切った今日、地域医療構想と地域包括ケアシステムの構築・変革を常に念頭に入れながら、職員一同日々歩み続ける所存ですので、各診療機関の皆様には、今後も引き続きご支援・ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。

この広報誌には、現時点ならびに将来の各診療科や各部門の具体的な活動内容や特色が掲載されておりますが、御覧頂いた皆様におかれましては、是非とも忌憚のないご意見を頂ければ幸甚と考えています。

ハイブリッド手術室について

JCHO 大阪病院では2015年5月に「ハイブリッド手術室」が完成し、2016年4月から心臓血管外科で本格稼働しています。

ハイブリッド手術では外科的手術(手術)とカテーテル手技(血管内治療)の組み合わせが可能で、患者さんの体の負担を軽減する様々な低侵襲治療が可能となります。一方で、装置の操作、麻酔管理、手術器械の管理などの多くの視点が必要で、携わるメンバーのチームワークが重要です。当院では術前に医師(心臓血管外科、循環器内科、麻酔科、放射線科)、看護師、放射線技師、臨床工学技士といった幅広い部門と合同カンファレンスや予行演習を行い(写真1)、現在まで大きなトラブルなく稼働しています。チームワークも向上し、スムーズな治療が行えるようになってきました。



ハイブリッド手術室の特色

先進的な手術室で、より安全で患者さんの負担が少ない手術が可能に

心臓(弁膜症・狭心症・心筋梗塞)や大動脈(大動脈瘤・大動脈解離)の治療は、“いのち”を守るために不可欠な手術ですが、手術そのものの体への負担が大きいことが課題でした。近年、足の付け根や腕など、体の表面の血管から心臓や大血管に到達する“血管内治療=カテーテル治療”の技術がめざましく進歩しています。しかし、カテーテルだけで治療するのは困難であったり、万が一の外科的バックアップが必要な場合があります。

“ハイブリッド手術室”は、ガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせた「ハイブリッドカー」のように“外科手術設備(空調・手術台・無影灯など)”と“X線血管撮影装置”を組み合わせた先進的な手術室です。高い空気清浄度の環境下で、カテーテルによる血管内治療が可能となります。外科手術の最中でも、X線血管撮影装置の使用により、その場で立体的な血管や臓器の3次元画像をリアルタイムで作成、観察する事が可能で、より安全で患者さんの負担が少ない手術が可能となります。当院のハイブリッド手術室に設置されているのはドイツ・シーメンス社製のプレミアムX線血管撮影システム「Artis zeego」(通称:ジーゴ)です(写真2)。ジーゴは多関節のロボットアームを有しており、柔軟性の高い動きが特長です。この独自の動きは、従来の装置では成し得なかった新しいアームポジショニングを実現し、患者さんに合わせた治療が行えます。また、独自の最新プログラムにより、X線の被ばく低減と高画質なX線画像の両立が実現しました。

この最新鋭の血管撮影装置を使用して従来から実施していたカテーテルを用いた大動脈の治療法であるステントグラフト内挿術(写真3)を、より安全に実施する事が可能です。もちろん、ステントグラフトのみならず、様々な血管内治療や外科的手術を行うのに最適な環境です。

●Dyna CT/3D フュージョン画像:ジーゴは透視アームの自由度が高く、回転撮影でCT画像に近い断層画像(輪切り画像)を得ることができます(Dyna CT)。この断層画像を3次元化(立体化)し、術前の造影CTをライブ映像と重ね合わせて表示することが可能です(3D フュージョン)(写真4)。これらの画像で造影剤を使用せず、視覚的に血管の位置や角度をおおむね認識できるので、透視時間(被曝線量)や造影剤量(腎毒性)の低減が図れます。

●当院の体制:ハイブリッド手術室を導入して、従来の開胸、開腹による心臓血管手術はもとより、低侵襲なカテーテル治療(ステントグラフト内挿術)を積極的に行っています(詳細は当院ホームページ <http://osaka.jcho.go.jp/shinzo/> をご覧ください)。また大動脈瘤破裂や大動脈解離に対しての緊急手術に24時間対応できる体制をとっています。大阪大学病院とも連携し、より高度で先進的な治療を選択肢としてご提示することができます。

ハイブリッド手術室で治療をおこなう疾患

- 大動脈疾患 胸部大動脈瘤(写真5)、腹部大動脈瘤(写真6)、大動脈解離(写真7)
- 末梢血管 閉塞性動脈硬化症、急性動脈閉塞
- 弁膜症 大動脈弁狭窄症

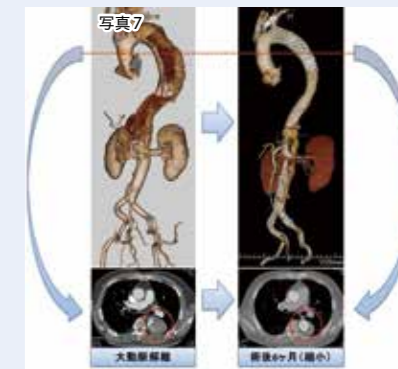
患者さん、一般の方へのメッセージ

【循環器センターについて】

- ・心臓血管外科専門医・循環器専門医が24時間体制で循環器疾患(心血管疾患)の救急患者を受け入れます。
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会指導医、日本心臓血管インターベンション治療学会指導医、日本インターベンショナルラジオロジー学会指導医が在籍しており、専門性の高い低侵襲血管内治療を行っています。
- ・心臓リハビリテーション指導士によるリハビリを積極的にすすめ、早期の退院、速やかな社会復帰を目指します。
- ・診療科や職種を超えた“ハートチーム”として、最新の設備で最良の循環器医療(心血管疾患)を目指します。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

心血管救急疾患を疑われた際には迷わず当院の24時間対応 循環器ホットライン(090-6374-4374)へお電話ください(相談のみでも遠慮なくお気軽にご連絡ください)。



当院の実力

プライマリケア診療部・ 救急診療部編

プライマリケア診療部部長 藤田 芳正



はじめに

当院の救急診療の特長は、ほとんどの診療科（血液内科を除く）が揃っており、休日夜間も内科、外科、整形外科、循環器科、小児科、産婦人科、脳卒中、ICUと常に8人の専門医が当直していることです。病院銀座と呼ばれるほど大病院が集まっている大阪市北部地域の中でも、これだけの当直医がいる病院は数少ないと思われます。主に1～2次救急を取り扱っていますが、各科の専門医が常駐しているために基本どのような疾患にも対応できるのが当院の強みです。

日勤帯は、1年目研修医と2名の指導医が診療を行っています。また、2年目の研修医も診療に参加することもあります。夜間帯は、2年目研修医と常勤の上級医が初期診療にあたっていますが、常に待機している各科専門医とも相談しながら診療を進めており、緻密な診療が可能です。

新病院では、救急室はハード面も整備され、結核やインフルエンザウイルス、ノロウイルスなどの感染症疑いの患者さんを隔離して診療することが可能となりました。また、スペースも大幅に広くなったため、並行して複数の重症患者さんを診療することも可能となりました。

特色

（詳細については当院のホームページ <http://osaka.jcho.go.jp/emergency/> もご覧ください。）

- ・当診療部では、年間1万人前後の救急患者（救急車搬送は年間3000人前後）を受け入れています。
- ・臨床研修病院であるため研修医が初期診療にあたることもありますが、常に指導医や各科専門医にコンサルトできる体制を整えています。また、毎朝の救急症例検討会で個々の症例につきフィードバックを行っています。
- ・個々の患者さんの心理、社会的背景も含めた全人的医療を心がけて診療にあたっています。
- ・心筋梗塞や大動脈解離、消化管出血、脳出血、消化管穿孔などに対して緊急カテーテル治療や緊急内視鏡、外科手術などが常時施行できる体制を整備しています。
- ・感染症診療にも力を入れており、感染源の検索や菌の同定を積極的に行い、抗菌薬を適正に使用するよう努めています。



患者さん、一般の方へのメッセージ

当院では、前述のように様々な救急疾患への対応が可能な体制がありますが、救急車だけでなくご自身で来院される方も多いため、緊急度を判断し診療順序を組み直す（トリアージ）作業を行っており、必ずしも来院順に診療を行うことはできません。そのため場合によっては、やむを得ず長時間お待ちさせることもあります。ご理解いただきますようお願いいたします。

また、直接ご来院される際には、事前に当院までご連絡いただけますと、受診の必要性や診療が可能かどうかについての相談にお答えできますので、ご一報いただけましたら幸いです。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

地域の医療機関からの紹介患者さんは、病院の事情が許す限り受入れをさせていただきます。緊急対応が必要な患者さんがおられましたら、気兼ねなくご連絡いただければ幸いです。特に救急患者さんで緊急の処置等が必要な方は、地域連携室を介さず救急室に直接連絡していただけるようになりました。

これまでは、各関連診療科に受け入れの可否を確認して返事をしていただくことが多く返事に時間を要することもあり大変ご迷惑をおかけしておりましたが、今後は速やかな受け入れができるようシステムの改善を図っているところですので、なにとぞよろしくお願いいたします。

また、当院に対するご意見、苦情などございましたら、今後の改善点として検討させていただきますので遠慮なくご連絡ください。

当院プライマリケア診療部（臨床研修）を志望される医学生、研修医の皆さんへ

（詳細については当院のホームページ <http://osaka.jcho.go.jp/emergency/> もご覧ください。）

プライマリケア診療部は、初期研修医が全員所属する部署で、救急外来初期診療ならびに研修医教育を担っている科です。当院は各診療部門に多くの優秀な指導医を有し、各診療科の垣根も低く、感染症等を含めきめ細かな指導を受けることが可能です。将来どんな分野に進んでも総合的な基礎の臨床能力が十分身につく研修体制となっています。

交通至便で立地条件にも恵まれた総合病院で、非常に意欲の高い研修医が集まり、相互に切磋琢磨している「元気の研修病院」です。

（特色）

- ・研修初期における救急診療のための集中講義や ACLS（2次救命処置）実習、定期的な CPC（臨床病理カンファレンス）、毎週の内科研修医カンファレンスなど各種カンファレンス、抄読会の実施、グラム染色学習会、他院での勉強会（音羽 GIM カンファレンス、大阪西の方 GIM カンファレンスなど）への積極的参加など、医療知識の向上に絶えず努力を続けています。
- ・救急診療は研修の全期間を通して実施するため、プライマリケア診療部の指導医や他科上級医のもとでより広範囲で高い診療能力が習得できます。
- ・感染症の専門医が在籍しており、感染症教育にも力を注いでいます。
- ・基本的な診療を行うための知識や技術はもちろんのこと、医師としてのモラルや自ら考え動く意識、コミュニケーションスキル等も指導し、人間的にも優れた医師になることを目標とし教育を行っています。
- ・研修医の採用試験の競争率は毎年5倍前後と高く、非常に意欲のある優秀な研修医が集まって常に切磋琢磨しています。
- ・1, 2年目の初期研修医は合計25名で男性12名、女性13名とほぼ同数です。女性が働きやすい環境作りにも努めています。

高精度放射線治療について

新病院では放射線治療装置が更新され、高精度放射線治療が可能となりました。

高精度放射線治療とは、その名の通り従来の方法よりも正確・精密に放射線をあてる手法で、正常組織への副作用を最小限におさえながら癌病巣の治療をすることができます。

病変部を画像で確認して治療する画像誘導照射 (IGRT) の技術のもとに、ピンポイントに放射線をあてる体幹部定位照射 (SBRT) や正常組織を避けて病変の形状に放射線をあてる強度変調照射 (IMRT) が相当します。



「専用の固定具と呼吸制御下での照射」



「照射中の腫瘍の動きをリアルタイムで確認」

特色

- ・病巣に大量の放射線を照射するため、従来よりも高い治療効果が期待できます。疾患によっては手術と遜色ない効果が得られます。
- ・正常組織にあたる放射線を減らせるため、副作用を抑えることができます。従来は難しかった部位の癌でも治療可能です。
- ・通常の放射線治療と同じく、高齢者や合併症がある方も治療が受けられます。
- ・当院の特徴として、SBRT では呼吸によるズレを最小にするために息止めでの短時間照射を基本にしています。
- ・専用の固定具を作成するなど、準備には多くの手間と時間がかかります。
- ・安全に行うには排尿や排便を整えたり呼吸を一定にするなど、患者さんの協力も必要です。
- ・適応を誤ると逆に大きな副作用を招きかねません。事前に十分な検討と準備を行います。

高精度放射線治療対象の疾患

高精度照射の利点を生かした治療として、現在は前立腺癌の IMRT、肺癌と肝臓癌の SBRT を行っています。今後は徐々に対象疾患を増やしていく予定です。画像誘導照射の技術は通常照射の一部として殆どの癌に対して利用しています。

※施行できる件数が限られるため、現在は院内の診療科からの紹介のみを受けています。

患者さん、一般の方へのメッセージ

従来は十分な治療ができなかった癌も高精度照射で治療できる可能性があります。ただし、当院では保険診療の範囲内のみで行っていることもあり、適応については患者さんごとに個別に検討が必要となります。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

当科へ問い合わせいただければ、治療の可否や待機時間などについてお答えいたします。ただ、残念ながら現在のところ当院で対応できる疾患の種類や件数は限られています。また、実際の患者さんの紹介については当該診療科へお願いいたします。

骨ドックのご案内

日本人の平均寿命は延びていますが、転倒や骨折のため寝たきりの生活を送っている方も増えています。骨粗しょう症は、骨折しやすい疾患であり、早期発見が重要です。2016年4月より、従来の骨密度検査を2箇所に加えて、骨代謝マーカーを加え、「骨ドック」に内容を変更いたしました。



骨密度検査

デキサ法 (X線) で次の2箇所を測定します。

- ・大腿骨頸部 (足の付け根部分)
- ・腰椎 (第2～4)

骨代謝マーカー検査

血液検査で次の3種類を測定します。

- ・BAP：新しく骨を作る働きを表します
- ・TRACP-5b：不要な骨を吸収する働きを表します
- ・ucOC：骨の中のビタミン K の不足状態を表します

FRAX

骨密度あるいは脆弱性骨折の危険因子による骨折評価ツール (FRAX) を用い、将来10年間の

- ・骨粗しょう症性骨折
- ・大腿骨近位部骨折 の発生率 (%) を算出

以上の検査を行い、総合的に評価します。



実施日

一日ドックまたは二日ドック受診日

料金

10,000円 (税込み)

特に骨粗しょう症の危険性は65歳以上の女性、70歳以上の男性が高くなります。それ以外にも喫煙、過度の飲酒、ダイエット経験のある方、運動不足など生活習慣が気になる方にお勧めの検査です。

お申し込み・お問い合わせ

一日ドックまたは二日ドックをお申し込みの際にあわせてお申し出ください。
JCHO 大阪病院 医事課人間ドック係 06-6441-5451 (代) 平日9時～17時

院内施設のご案内

新駐車場が完成しました



- ▶ 事前精算機は西側出入口(守衛室前)にあります。
- ▶ ご入場は、あみだ池筋よりお願いいたします。

【駐車場問合せ先】

タイムズコンタクトセンター TEL: 0120-72-8924

(利用料金)

- 一般料金 60分 600円
- 外来受診の方 60分 200円
- ・最大料金 平日 1,800円 土日祝 800円
- ・上記割引対象の方で、身体障害者手帳をお持ちの方 (無料)
- ・入院・退院当日、日帰り手術、人間ドック受診の方(無料)



患者さん用コインロッカー

- 設置場所 1F タリーズコーヒー入口横
- 使用料金 1日1回 小型100円 中型200円
- 係員対応時間 平日 9:00 ~ 17:00
土日祝祭日 翌通常診察日
(時間外の対応はできませんのでご注意ください)
- 追加料金 午前0時をもって日数の切替えとなり、引続いてご使用の場合は、上記料金の追加となります。
- 使用期間 4日(連続)以上の使用はできません。
3日以内にお引取りください。(ご使用当日も含まれます)
- 使用期間の経過 4日以上経過した収容品は、規定により当方所定の場所に保管します。
- 保管荷物 前項により別途保管中の収容品保管期間は30日以内で、保管料金は、ロッカー使用料と同じです。
(30日を過ぎた物品は処分いたします)
- 鍵の紛失 直ちに下記連絡先にお申し出ください。
なお、鍵交換費用として2000円いただきます。
- その他 コインロッカーの使用約款はロッカー扉裏にありますのでご覧ください。
- 連絡先 ロッカーについてのご用の方は守衛室まで願います。

施設名	施設名	施設名
 自然派レストランのだぶじ	 タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE	 ファミリーマート
場所 4階(南)	場所 1階(東)	場所 1階(東)
営業時間 8:30~15:00 (モーニングタイム 8:30~10:00) (ランチタイム 10:00~15:00) 定休日: 土・日・祝日・年末年始	営業時間 平日: 7:30~19:00 土・日・祝: 8:00~18:00 年中無休	営業時間 24時間営業・年中無休

ラウンジ・医療情報コーナー

当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名	場所	開放時間
 ラウンジ(外来)	2階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始
 医療情報コーナー	3階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始
		一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、医療書があります。 (利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)

トピックス

地域医療連絡会が開催されました

2017年1月28日(土) リーガロイヤルホテルにおいて、平成28年度の地域医療連絡会が開催されました。

連絡会の開催前には「平成28年度 第4回地域医療支援病院運営委員会、開放型病床運営委員会、地域医療研修委員会」が別室にて開催され、外部委員の先生方より貴重なご意見を伺いました。

連絡会は、山崎芳郎病院長挨拶の後、学術講演会として波多祐紀形成外科診療部長より『形成外科にご紹介いただいた患者の「その後」』、岩田圭司心臓血管外科診療部長より『大動脈疾患 外科治療の最前線』の講演が行われました。また、田中小百合看護部長からは、認定看護師の紹介とともに『訪問します!! 健康講座』の活動報告がありました。その後、新任部長の紹介、懇親会へと進み、懇親会には、

日頃お世話になっております地域の医療機関の先生方に多数参加していただき盛況のうちに終えることができました。

ご参加いただきました地域の先生方におかれましては、ご多忙の中、地域医療連絡会に足を運んでいただき誠にありがとうございました。医療機関の先生方と講演会・懇親会を通じて交流をはかることができ、より一層の連携を深めることができました。地域連携室一同大変嬉しく思っております。

地域連携室は、これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるように努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(地域連携室 小孫 健)



世界糖尿病デー in JCHO大阪病院 2016 開催



国連は、インスリン発見者バンティングの誕生日である11月14日を『世界糖尿病デー』と定め、糖尿病の予防、治療、ケアに取り組むように加盟国に呼びかけています。

当院では、2016年11月14日の午後、2階外来待合スペース(ラウンジ)にて、医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、歯科衛生士らから成る糖尿病チームで、手作りポスターの展示や各種相談をお受けするとともに、血糖値測定、体脂肪率測定、フットケアなどの体験コーナーを設け、運動療法士による体操指導も実施しました。多くの方々にご来場いただくことができ、充実したイベントとなりました。また、玄関の樺などをシンボルカラーのブルーでライトアップしました。

(内科診療部長 宮田 哲)

大阪病院賞 復活！

今般、当院では、厚生年金病院時代に実施していた職員の表彰制度を復活させました。

この表彰制度は、チーム医療や職場内の課題に対し、職員が主体的に創意工夫した取り組みについて「大阪病院賞」として表彰するものです。

「大阪病院賞」は、職員のモチベーションの向上をもたらし、結果として患者さんの満足にもつながる取り組みと考えています。

当院では、こうした取り組みを通して、今後も魅力ある職場づくりを目指していきます。

今年度の受賞チームをご紹介します。

大阪病院表彰

優秀賞

タイトル：訪問します！健康講座

チーム名：看護ケア推進会議 CN/CNS 会

代表：NICU 副看護師長 澤井 真理

受賞の講評

当院自慢の専門看護師、認定看護師が、地域住民の皆さんに対し健康に関する講座を開いています。この講座を通して地域住民の皆さんと情報交換を行うことで、健康に関する不安の軽減につながっていることを大きく評価しました。

優秀賞

タイトル：チーム・薬助におまかせ！

チーム名：チーム・薬助（薬剤助手）

代表：薬剤助手 和田 恵美子

受賞の講評

複数の障がい者を含む薬剤助手がチームを組み、薬剤師を下支えすることにより、薬剤師が患者さんに行う服薬指導の充実につながりました。また、福祉施設としての病院にふさわしいダイバーシティマネジメント（人材と働き方の多様化）が確立されつつあることを評価しました。

特別賞

チーム名：リハビリテーション部門

代表：リハビリテーション科部長 二宮 晴夫

受賞の講評

今年度、当院のリハビリテーション部門で実践された取り組みは多岐にわたっています。

そうした取り組み全体を評価しました。



福島区自衛消防技術練成会で優勝しました

2016年9月14日、平成28年度「福島区自衛消防技術練成会」が福島消防署署庭にて実施されました。

この技術練成会は、福島区内の各事業所の自衛消防隊員が、消防技術の向上と防火意識の高揚を図ることを目的として毎年実施され、その技術を競い合うものです。

今年も当院の自衛消防隊員4名が「消火器操法」「屋内消火栓操法」の2種目に出場し、「消火器操法 女子の部」で当院の薬剤師 嶋西 教が、みごと優勝しました。

患者さんの安全を守るため、操法訓練の成果の確認と職員のチームワークを高める良い機会となっています。



サンタラン クリスマスプレゼント

みなさん、「Osaka Great Santa Run（おおさかグレートサンタラン）」をご存知でしょうか。サンタクロースの衣装で大阪城公園をランニングし、参加費の一部は大阪府下及び関西圏の小児医療機関で闘病している子どもたちへのクリスマスプレゼントとなります。2009年のスタート時から、当院看護部も、趣旨に賛同し、救護ボランティアとして参加してきました。

念願のクリスマスプレゼント（2015年度分）が、当院に入院している子どもたちにも届きました。

サンタクロースの代わりに、田中看護部長・渡邊課長補佐から、入院している子どもたちが大喜びしそうなおもちゃが病棟へ届けられました。目をキラキラさせながら、おもちゃを見ていました。



かかりつけ医さん こんにちは

福島区 さのこどもクリニック

院長 佐野 哲也
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-2-17 阪神野田駅前ノースサイドビル3階

TEL 06-6940-6105

FAX 06-6940-6375

ホームページ <http://www.sano-kids-clinic.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
予約外来 16:00~19:00	★	★	★	—	★	—	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

★予約外来：月・水は循環器・乳幼児健診、火・金は予防接種



佐野先生(中央)とスタッフの皆さん

1998年から17年間大阪厚生年金病院小児科でお世話になり、2015年4月から野田阪神で小児科クリニックを開業しました。小児科医になって37年になりますが、未だに臨床能力の未熟さを痛感する毎日です。お子様の病気や健康について何でも気軽に聞くことができる親しみやすいクリニックを目指しています。またこれまでの経験を生かした超音波検査による心疾患や小児疾患の診療を進めてまいります。重症患者や診断がつかないお子様についてご紹介させていただきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



診療科目
小児科/小児循環器科
往診
無
休診日
木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
駐車場
無

アクセス
■ 阪神電鉄「野田」駅下車、徒歩2分
■ 大阪市営地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩2分
■ JR東西線「海老江」駅下車、徒歩3分

福島区 てらい眼科

院長 寺井 実知子
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲4-3-23 福島スカイハイツ1階

TEL 06-6453-5580

FAX 06-6453-5590

ホームページ <http://terai-ganka.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	—	○	○	○	—
16:00~18:30	○	○	—	○	○	—	—



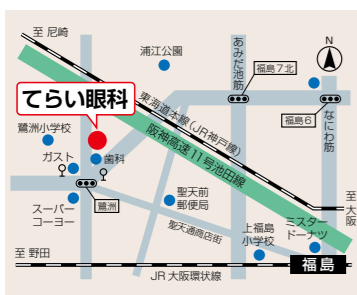
寺井先生(左)とスタッフの皆さん

2013年7月に福島区鷺洲で開業しました。当院では乳幼児から高齢の方まで眼科疾患全般を診療させて頂き、目のことなら何でも相談できる親しみやすい眼科を目指しています。

レーザー治療も行っておりますが、それ以外の手術や特殊検査、他科受診の際は近隣の病院に紹介させて頂いています。

JCHO大阪病院はすぐに予約を入れてもらえ大変有り難く思っています。

これからも地域のお役に立てるよう頑張っております。よろしくお願いいたします。



診療科目
眼科/小児眼科
往診
要相談
休診日
水曜・土曜午後・日曜・祝日
駐車場
無

アクセス
■ JR大阪環状線「福島」駅下車、徒歩7分
■ 大阪市バス59系統「鷺洲(さぎす)」バス停下車すぐ

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

西区 佐々医院

院長 佐々 成太郎
〒550-0027 大阪市西区九条3-23-6

TEL 06-6581-2070

FAX 06-6584-3688

WEBサイト (1タブページ) <http://nttbj.itp.ne.jp/0665812070/smp-index.html>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
17:00~19:00	○	—	○	—	○	—	—

検査のみ予約制(電話予約可)
超音波検査・胃カメラ検査・大腸カメラ検査
30代女性の乳がん検診(エコー)、予防接種



アクセス
■ JR大阪環状線「西九条」駅下車、徒歩8分
■ 大阪市営地下鉄中央線「九条駅」駅下車、徒歩3分
■ 阪神電鉄なんば線「九条駅」下車、徒歩5分

診療科目
内科/小児科/外科
往診
有
休診日
火曜午後・木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
駐車場
有(4台)



佐々成太郎・仁美先生

3代目JSBではありませんが、祖父、父に続き、3代目の私が、現在夫婦で医院を継承しております。

院長の私は、胃・大腸内視鏡検査、エコー検査による、食道・胃・大腸・肝臓などの腹部臓器・乳腺等の癌の早期発見に重点をおいて診療を行っており、妻の仁美医師は、糖尿病をはじめ一般内科診療、小児科診療を担当しております。

診療時間外でも、携帯電話で24時間対応しております。

さらに、ご要望に応じて往診も行っており、また、近隣の基幹病院との連携を密にし、地域住民の皆様の健康維持・増進のお役に立てる様、日々努力しております。

西区 藤田外科胃腸科

院長 藤田 宗行
〒550-0027 大阪市西区九条1-14-24

TEL 06-6586-2866

FAX 06-6586-2865

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00~19:00	○	○	○	○	○	—	—



アクセス
■ 阪神電鉄なんば線「九条駅」下車、徒歩1分

診療科目
胃腸科/外科
往診
有
休診日
土曜午後・日曜・祝日
駐車場
〇〇〇



藤田先生(左から2番目)とスタッフの皆さん

当院は、「病気を診ずして病人を診よ」を理念としています。診療は、院内、往診、在宅訪問診療を行っています。そこで地域医療機関、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問リハビリステーション、介護施設と密に連携するようにしています。主に外科、内科、整形外科領域疾患の診療を行っています。検査では上部消化管内視鏡検査、乳腺エコーなどを行っています。

今後とも患者様の目線に立って診療を行って参ります。

2016年6月から12月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は68件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は72件、合計140件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介いたします。

Q 外来で、予約の順番を忘れられた。次回の予約票を忘れられた。担当の先生がお休みの場合は、患者も不安があるのに、待って下さいばかりでは困ります。それなりの対応をしてほしかった。

A このたびの外来受付の対応により、ご気分を害されたこと、深くお詫び申し上げます。早速、医師・スタッフが下記の通り話し合いを致しました。

1. 確実にブロック受付を行うことを徹底し、受付担当者だけでなく、診察介護者も外来患者様がお待ちでないかを確認する。
 2. 医師の休診が続く場合には、外来表示することを検討する。
 3. 次回予約票は、医師自身も含め、看護師等、対応する者全員が確認をする。
- いただきましたご意見は、他の外来スタッフにも返し、外来全体で患者様への心温まる対応に努めて参ります。

Q ・階段の場所がわかりにくい。(使えるのですか)
・4階のレストラン「のだふじ」に行きにくい。
・2階、3階の診療科の場所がわかりにくい。

A 階段につきましては、東西(タリーズ側、会計側)に1箇所ずつございます。サインもでていますが、但し、2階と3階の外来までと6階講堂までは階段で行けますが、この他の階は階段では行けません。エレベーターをご利用下さい。4階レストラン「のだふじ」には、エレベーターでしか行くことができません。これらの事以外のことで分かりづらいところがありましたら、お近くのスタッフ、もしくは1階総合案内でお尋ねください。

Q 駐車場内の歩道を自転車が乗ったままの状態で行っています。数台見たのですが、スピードが出ていてぶつかりそうになり危険です。歩道は押して歩いてもらえるように張り紙か、看板を立ててほしい。

A 早速、病院駐車場内歩道の周辺に、掲示板「危険自転車は押して歩いてください」を6箇所に掲示し、患者様等の交通事故防止を図りました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。



患者さんへのお願い

受診時のお願い

- ・診療科によって予約の患者さん限定の曜日があります(神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科)。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- ・保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日(なるべく受診された月内に)、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡しください。保険診療で計算しなおします。
- ・当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っております。**予約の際にはかかりつけ医からの紹介状が必要です。**診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- ・予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- ・当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて
整形外科(リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む)の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。
受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。
なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】地域連携室 TEL: 06-6441-5451 (内線 2158) AM 9:00 ~ PM 5:00 (土日祝日を除く)

I. 病院の理念・基本方針・ 看護部の理念・看護部の方針

JCHOの理念

我々全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO大阪病院内の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

II. 患者さんの権利と責務

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこなう最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんや病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

当院が下記メディアに掲載されました

新聞記事

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内 容
読売新聞	2016.9.4(日)	病院の実力「大腸がん」 (2015年治療実績)	<ul style="list-style-type: none"> •手術・結腸がん(70件) •手術・直腸がん(30件) •腹腔鏡手術・結腸がん(54件) •腹腔鏡手術・直腸がん(23件) •ESD(55件)
読売新聞	2016.10.2(日)	病院の実力「胃がん」 (2015年治療実績)	<ul style="list-style-type: none"> •手術(50件) •腹腔鏡手術(14件) •ESD(120件) •手術後の補助化学療法(11人)
読売新聞	2016.11.6(日)	病院の実力「乳がん」 (2015年治療実績)	<ul style="list-style-type: none"> •全手術(146件) •同時再建手術(1件) •再発リスク検査○できる
読売新聞	2016.12.4(日)	病院の実力「肝臓がん」 (2015年治療実績)	<ul style="list-style-type: none"> •全手術(16人) •ラジオ波治療(67人) •肝動脈塞栓療法(187人)
読売新聞	2017.2.5(日)	病院の実力「スポーツ外傷」 (治療実績)	<ul style="list-style-type: none"> •認定スポーツ医(5人) •膝前十字靭帯再建手術(2015年)(40件) •膝後十字靭帯再建手術(5年間の件数)(4件) •膝関節靭帯安定性測定器○あり

◆ 禁煙外来のご案内 (予約制)

場 所 内科外来

日 時 毎週月曜日 14時～

内 容 禁煙補助薬処方、呼気一酸化炭素濃度測定など個別指導で、カウンセリング中心です!

事前予約の上お越しください。

*保険適応は一定の条件を満たされる方

保険改定により35歳未満の方でも
受けやすくなりました。

問合せ JCHO(ジェイコー)大阪病院
内科外来 TEL:06-6441-5451(代)



各種教室

マタニティクラス 問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(産婦人科外来もしくは8階東病棟) ☎ 06-6441-5451(代)

- 開催日/毎月第1・3水曜日、第4金曜日、月1回第2日曜日
- 時間/9:30~11:30、13:30~15:30(第4金曜日のみ13:30~15:00)
- 場所/当院6階 講堂
- 予約制(日時変更の場合は個別に、お伝えしています。)

腎臓病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(血液浄化センター) ☎ 06-6441-5451(代)

- 時間/13:30~14:30
- 場所/当院6階 会議室2
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

※都合により下記の内容に若干変更があるかもしれません。11月は4週目が祝日のため、5週目になります。

開催日	テーマ	対象	担当
5月25日(木)	慢性腎不全の食事療法/カリウム、塩分の工夫	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	栄養部
6月22日(木)	腎機能が低下しているといわれたら…/慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者さん(Cr2mg/dl以上)	医師
7月27日(木)	腎臓病と福祉制度(社会保障制度)	保存期、透析導入患者さん	MSW
8月	お休み		
9月28日(木)	慢性腎不全の食事療法/たんぱく制限の工夫	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	栄養部
10月26日(木)	腎臓を長持ちさせる為に①慢性腎不全とは②日常生活で注意すること	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	医師
11月30日(木) 4週目が祝日のため 5週目になります	慢性腎不全の食事療法/エネルギーの摂り方	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	栄養部

レッツ!糖尿病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451(代)

- 時間/14:00~16:00(受付は13:40から)
- 場所/当院6階 講堂1・2
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

※5月は第2木曜日に開催致します。

開催日	テーマ	担当	開催日	テーマ	担当
5月11日 第2木曜日	神経障害について いつまでも健口生活 合併症の検査	医師 歯科衛生士 検査技師	9月7日(木)	みんなで語り合おう ~カンパセーションマップ~	医師 看護師 管理栄養士
6月1日(木)	糖尿病の薬物療法(経口剤) インスリン注射について知りましょう! 低血糖について	医師 薬剤師 看護師	10月5日(木)	糖尿病の目の合併症 手軽にできる運動	眼科医師 運動療法士
7月6日(木)	糖尿病の大血管障害について 食事カードを使ってランチを選ぼう	医師 管理栄養士	11月13日 第2月曜日	世界糖尿病デー 2階外来待合(ラウンジ)にて開催	

心臓病教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(循環器内科外来) ☎ 06-6441-5451(代)

どなたでも自由にご参加いただけます。心臓病との付き合い方を考える勉強会です。自分で健康管理できることを目指します。

- 開催日/毎週水曜日と第3金曜日
- 時間/13:00~14:00
- 場所/当院2階 心臓リハビリテーション室
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

※詳細は当院ホームページ、院内掲示をご覧ください。 ※緊急手術などにより予告なく変更・中止することがあります。

禁煙教室 問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451(代)

なぜ禁煙が難しいのか、禁煙によるメリット、禁煙成功のコツなどをわかりやすく解説いたします。どなたでも参加できます。禁煙外来を受診されるかたにはあらかじめ受講をおすすめしています。

- 開催日/第4月曜日
- 時間/13:00~14:00
- 場所/当院6階 会議室6
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。



公開講座

どなたでも
参加できます

消化器病懇話会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来) ☎ 06-6441-5451(代)

- 時間/14:00~16:00
- 場所/当院6階 講堂2
- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。
- 開催日/7月22日(土)、9月30日(土)、11月11日(土)

※詳細については確定次第、院内に掲示します。

院内の公開講座

対象:医療従事者

院内の公開症例検討会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(地域連携室) ☎ 06-6441-5463

名称	日時	場所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日 17:30~19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日 19:00~21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日 17:00~18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日 17:30~18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。開催直前までの1週間以内に地域連携室(TEL 06-6441-5463)にご確認ください。

ケア連携の会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(医療福祉相談室:北) ☎ 06-6441-5451(代)

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対象/病院看護師、訪問看護師、ケアマネジャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。
※「医療・看護トピックスの情報提供」の開催日は、決定次第お知らせします。

開催日	時間	内容	場所
7月11日(火)	18:00~19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2
11月7日(火)	18:00~19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2
2018年2月6日(火)	18:00~19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2
未定	18:00~19:30	医療・看護トピックスの情報提供	看護学校 視聴覚教室
未定	18:00~19:30	医療・看護トピックスの情報提供	看護学校 視聴覚教室
未定	18:00~19:30	医療・看護トピックスの情報提供	看護学校 視聴覚教室
未定	18:00~19:30	医療・看護トピックスの情報提供	看護学校 視聴覚教室

公開講演会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(看護部教育担当:村上) ☎ 06-6441-5451(代)

新人看護師コアレクチャー(前期の予定)

- フィジカルアセスメント ● 心臓の解剖生理と心電図 ● 麻酔 ● 血液透析
- 糖尿病と血糖コントロール ● 水・電解質バランスと血液ガスデータの見方 他
- 4、5月に計8回(開催予定日はホームページに記載します)
- 場所/看護専門学校 視聴覚教室 ● 時間/15:30~17:00

新人看護職員研修 受講者募集

研修参加を希望される方は当院ホームページ「新人看護職員研修プログラム」をご覧ください。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間
8:30～11:30
 (土・日・祝日・年末年始を除く)
 初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間
12:00～21:00 平日(月～金)
10:00～21:00 土・日・祝日

かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからの FAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域連携室(診察予約) (受付時間 8:30～19:30)
FAX(06) 6441-0512 TEL(06) 6441-5463(直通)

予約センター(検査予約) (受付時間 8:30～17:00)
FAX(06) 6459-4599 TEL(06) 6441-5451(内線2153)

診療科等一覧

- 救急部
- プライマリケア診療部
- 内科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線診療科
- 放射線治療科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科・歯科口腔外科
- 病理診断科
- 集中治療部
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は <http://osaka.jcho.go.jp/> でご覧になれます。
 ※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科 **問 整形外科外来**
TEL(06)6441-5451(代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
 (診療日) 要紹介・予約制: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

集中治療部(ICU)

新病院では全室個室になりました。手術後の患者さん(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、合併症のある患者さんの手術)、院内で集中治療の必要な患者さん、救急で来院された、心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、ICU専従医、スタッフ、臨床工学士などが協力して重症患者さんを治療します。

救急部 **問 TEL(06)6441-5451(代)**

時間内、時間外を問わず、内科プライマリケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。
 各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

内視鏡センター **問 TEL(06)6441-5451(代)**

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512 **かかりつけ医の先生専用**

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域連携室 **TEL(06)6441-5451(内線2158、2159)**

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

医療福祉相談室 **TEL(06)6441-5451(内線2140)**

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック **問 健康管理センター**
TEL(06)6441-5451(代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックを中心に、オプションを含め各種ご用意しております。詳しい内容は、健康管理センターまでお問い合わせください。

申 医事課(人間ドック係) **TEL(06)6441-5451(代)**

問 は問い合わせ **申** は申し込み **予** は予約先を表しています

NICU(新生児集中治療室) **問 TEL(06)6441-5451(代)**

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム **かかりつけ医の先生専用**

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 **問 医事課** **TEL(06)6441-5451(代)**

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。
 (診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)
 (診療科) 内科、産婦人科、小児科
 (受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 **問 乳腺・内分泌外科外来**
TEL(06)6441-5451(内線2319)

乳がんの早期発見にお役立てください。
 (検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、
 毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)

女性がん検診 **問 産婦人科外来** **TEL(06)6441-5451(内線2322)**

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です
 (検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)



- JR 東西線
 「新福島駅」下車徒歩約5分
 ※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがございます。
 ※当院に一番近い出口3には階段しかございません。
- 京阪電車 「中之島駅」下車徒歩5分
- J 環状線
 「福島駅」下車徒歩10分
 「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車 「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄
 千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- バス
 大阪駅前 鶴町四丁目[55]方面
 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
 大阪駅前 西島車庫前[56]方面
 「福島西通」下車 徒歩5分
 大阪駅前 西島車庫前[56]方面
 「大阪福島税務署」下車 徒歩5分
 大阪駅前 船津橋[53]方面
 「堂島大橋」下車 徒歩5分
- タクシー
 「大阪駅」より約10分

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者 / 「働きやすい病院」認定病院(第1号) / につけい子育て支援大賞受賞 / 女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院
JCHO(ジェイコ)大阪病院 信頼に応える医療
 独立行政法人地域医療機能推進機構(旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78
TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900
<http://osaka.jcho.go.jp/>

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報誌委員会宛まで